

映画「破戒」から考える

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課

昨年、水平社創立100周年記念事業として映画『破戒』が製作されました。

主人公は瀬川丑松(うしまつ)。丑松は、故郷を出るとき父親から「いいか丑松、部落民という素性を隠せ。」と言われます。この戒めを守って、素性を隠したまま、やがて丑松は小学校の教師となり、子どもたちに慕われます。自分が授業をする教室で、子どもによる部落差別事象が起こります。丑松は、子どもたちに差別することの間違いを話します。そして、誰もが胸を張って生きていくことの素晴らしさを話して聞かせるのです。ですから、子どもたちにとって丑松は、すべての子に対して同じ態度で接する大好きな先生なのです。

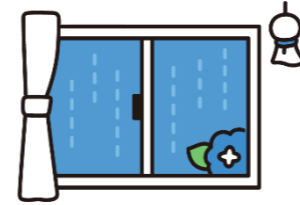
また、この戒めを守って、大人の部落差別事象の現場に出くわした時には、じっと耐えて見て見ぬふりをするのです。「止(と)めたい。止(や)めさせたい。」という気持ちをどのようにして押しとどめていたのでしょうか。どんな気持ちで我慢して耐えていたのでしょうか。丑松の尊敬する猪子蓮太郎(いのこれんたろう)は、出自を明らかにして活動する思想家です。その猪子に、手紙を出し面会することができました。しかし、猪子蓮太郎は壮絶な死を遂げます。その後、丑松の素性が、様々な形で、悪意ある人によって容赦なく暴かれていくのです。

思い悩む丑松は、ついに決意します。父の戒めを破ることを。学校で子どもたちに自分の出自を話します。そして涙ながらに懺悔します。…懺悔しなければならないことでしょうか。部落差別は、絶対に許すことができないものです。明治時代は、そういう時代だったのでしょう。今の時代には考えられないことです。20数年後には、水平社が創立され、宣言が高々と読み上げられます。「自らを誇りうる時が来たのだ。」

教師を辞し東京へ向かう丑松を、子どもたちと師範学校時代からの友達の教師が見送ります。丑松は子どもたちに言うのです。「生きていれば、きっとまた会える。」この言葉から、丑松の子どもたちへのメッセージが想像できます。「どんなに苦しくても、耐えろ。そして生きろ。」「この世の中をきつと変えてみせるぞ。それまで、がんばれ。」「みんなで一緒に、差別のない世の中にしていくぞ。」「仲間を信じろ。仲間と一緒に耐えられるぞ。仲間と一緒に変えられるぞ。」もっともっとたくさんの思いを込めて語ったのだと思います。

「愚かだから差別するのではない。弱いから差別するのだ。」劇中の言葉で、印象に残った言葉です。私なりに解釈すると、差別することは許されないことだと分かっている。それが分からないほど人間は愚かではない。差別するのは、自分を守ろうとして、自分以外の者を犠牲にしているのだ。自分以外の者を犠牲にして自分を守ろうとする狡(ずる)さなのだ。差別することは、自分の弱さをさらけ出していることなのだ。

この弱さを克服していくことが、現在に生きる私たちの使命だと考えます。一人一人の弱さを克服して、住みよいまち西条をつくり上げていきましょう。



公民館だより

よしい

2023年
6月号
令和5年

吉井地区4月末人口	前月比
男 1,109人	(- 3人)
女 1,201人	(- 7人)
計 2,310人	(- 10人)
世帯数 1,100戸	(- 1戸)

〒799-1363 西条市玉之江235-2
TEL・FAX：(0898) 64-3001
E-mail：yoshii-k@saijo-city.jp
<https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/syakaikyoiku/yosii-index.html>



←カラーの公民館だよりは
こちらです。



5/2、吉井小学校の児童と安全ボランティアの方々の対面式、交通安全教室が行われました。警察署、交通安全協会、安全ボランティアの方々に見守られ、子どもたちは安全に登下校できています。

子どもたちの安全のために…

「きけん」の文字も見慣れてしまうと風景の一部になってしまいます。身の回りの環境や日頃の行動を見直す機会を持ち、当たり前の中に潜む危険に気づきたいものです。



吉井地区愛護班連絡協議会では、今年も吉井地区の危険な川や水路などの周辺を点検し、32か所の赤旗を交換しました。「きけん」の旗のある場所で子どもたちが遊ぶことのないよう、お声掛けをお願いします。



西条市からのお知らせ

ご案内 QOL向上のための体操教室

スポーツ推進員による体操指導があります。生涯にわたってイキイキと生活ができるよう、体操を取り入れていきましょう。

【日時】 6月22日(木)
14:00～約1時間
【場所】 吉井公民館

【問合せ先】吉井公民館 電話:64-3001

作品募集 心に届く人権標語募集

令和6年度西条市人権カレンダーに掲載する標語を募集します。

【テーマ】様々な人権問題を捉え人権尊重を訴えるもの
【締切】10月31日(火)必着
【発表・表彰】入選者には賞状とカレンダーを贈呈
【応募方法】公民館にお尋ねください。

【問合せ先】西条市役所人権擁護課
電話:0897-52-1460

ご案内 「石鎚黒茶の製造技術」国重要無形民俗文化財指定記念シンポジウム

令和5年3月22日に本市の「石鎚黒茶の製造技術」が発酵茶の伝承や製造技術の変遷を理解する上で重要であるとして、国の重要無形民俗文化財に指定されました。それを記念してシンポジウムを開催します。ぜひご来場ください。



作業風景

【日時】 6月4日(日)
13:15～16:30(12:45開場)
【場所】 西条市小松公民館 大ホール
【主な内容】

- 指定団体の紹介
- 記念講演
- パネルディスカッション
- 製造工程を紹介するパネル展

○当日は、試飲会等を行います。(都合により中止する場合があります。)

【問合せ先】
西条市役所新館4階社会教育課
電話:0897-52-1628

参加者募集 高齢者交通安全教室

自動車を運転される高齢者の方を対象に、体験型の交通安全教室を開催します。ドライブレコーダーによる運転のチェックを行うことで、ご自身の運転技能を再確認することができます。ぜひ、ご参加ください。

【日時】 令和5年6月19日(月)
[午前の部] 9:00～12:00
[午後の部] 13:30～16:30

【場所】 西条ドライビングスクール
西条市石田284番地

【対象】 市内在住のおおむね65歳以上の方で自動車運転免許をお持ちの方

【定員】 各回20人ずつ(先着順)

【申込期限】 6月12日(月)

【持ち物】 運転免許証・眼鏡等運転に必要なもの

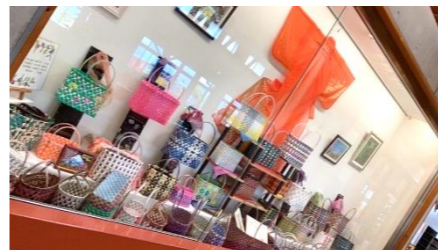
【講習内容】 

- ・市内の交通事故発生の状況説明
- ・サポートブレーキ搭載車の乗車体験
- ・市街地走行とドライブレコーダーで振り返り
- ・動体視力や夜間視力検査

【申込・問合せ先】
西条市役所危機管理課くらし安全係
電話:0897-52-1284(直通)

サークル活動

押し花&PPバンド「ひだまり」作品展



場所: 南地域交流センター
期間: ~5/30(火)10時まで

吉井フォトクラブ作品展



場所: 椿交流館
期間: ~5/30(火)

ゴミについてのお願い

- 粗大ごみの処理券は、粗大ごみのわかりやすい場所に貼ってください。手元に用意していても、貼られていなければ回収されません。
 - ごみの分別に悩んだときは、まず緑色の「家庭ごみ分別ガイドブック」をお読みください。
 - 「もえないごみ」も「もえるごみ」と同じように、袋の口をしっかりと縛ってください。
 - 陶器・焼き物は、他のごみと合わせて指定袋1枚に片手で持って破れない量まで。(指定袋 大で10kg程度)
 - もえないごみは拠点回収場所ではなく、各ゴミステーションで回収します。
- … ご協力お願いいたします …



6月 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 カワセミ号 11:00～11:30
4 休館	5 休館	6	7 ガラスびん	8 ♪吉井カフェ 13:30～15:00	9	10
11 休館	12 休館	13	14 古紙	15	16	17 カワセミ号 11:00～11:30
18 休館	19 休館	20	21	22 ♪QOL向上教室 14:00～15:00	23	24
25 休館	26 休館	27	28	29	30	

- 毎週月曜日と祝日は休館日です。
- 日曜日を臨時休館といたします。

石田短歌会

あした
朝より花見弁当作りぬ行くあてもなく二人の昼食
市の指導クラブ(老人)活動ままならぬ市より退いて地域で自立
来年も生きて見たしわが愛づるうすも色の侘助の花
境内の楠の大樹にクレイン来て姿軽やかに整へてゆく
英霊の御魂安かれと念じつつ平和を誓い一碗を献ず

相原サツキ
徳永吉則
森田 薫
山内美佐子
山内喜久子